

新城小 UD

分かりやすい授業につなげる視覚化・構造化

のポイント

板書の工夫

◇内容の理解につなげるために、場面絵や吹き出しを活用。



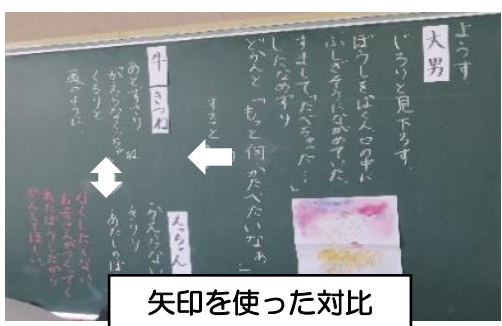
場面絵や吹き出し

◇様子や気持ちの違いを対比させるために、上下に区切ったり、矢印を使ったりして板書。

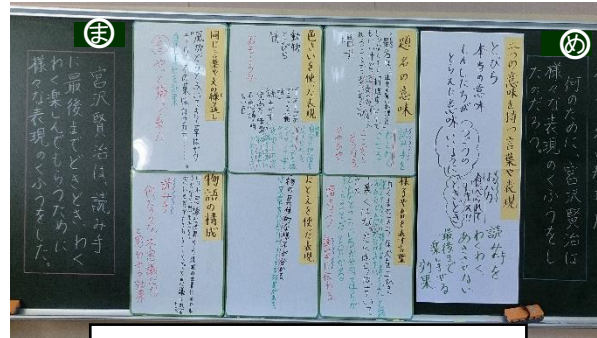


人間関係図

◇気持ちの変化を捉えやすくするために、心情曲線や人間関係図等を活用。



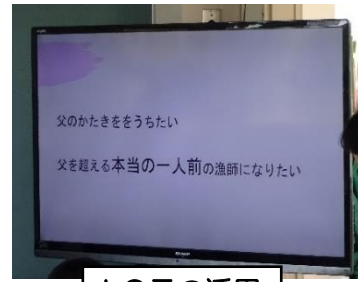
矢印を使った対比



めあてとまとめが一目で分かるように

○めあてとまとめが一目で分かるように、課題は青、まとめは赤のチョークで囲む。めあてとまとめの頭文字(め), (ま)のマグネットを使って提示する。

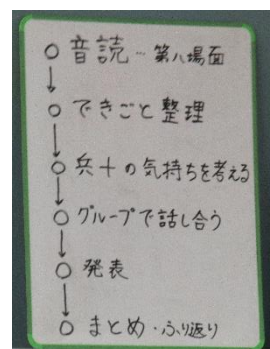
- 重要語句や文章を捉えやすいように、紙板書を活用する。
- ワークシートを使用する際には、ワークシートと対応した板書を行う。
- ICTを活用して、中心発問やキーワードなどを印象的に提示する。



ICTの活用

学習展開の工夫

- 教師自身の活動ごとのねらいやゴールを明確にする。
- 見通しを持たせるために、単元計画表やホワイトボード等で、単元や本時の流れを提示する。
- 「導入→めあての提示→展開1→展開2→まとめ」の基本のフレームに沿って授業を展開する。
- 活動のモデルを見せたり、同様の活動を繰り返したりと、スモールステップで学習を進める。



本時の流れの提示